

授業科目名 (英文表記)	社会思想から現代社会を考える (Modern society in the light of social thought)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	阿部 秀二郎、菊谷 和宏、大泉 英次		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月13日(金) 18:30~20:50	担当: 阿部 秀二郎	
	第2回 6月14日(土) 10:00~16:00	担当: 阿部 秀二郎	
	第3回 6月20日(金) 18:30~20:50	担当: 菊谷 和宏	
	第4回 6月21日(土) 10:00~16:00	担当: 菊谷 和宏	
	第5回 6月27日(金) 18:30~20:50	担当: 大泉 英次	
	第6回 6月28日(土) 10:00~16:00	担当: 大泉 英次	

#### 【授業のねらい・概要】

私たちが生きる現代の社会と文化について社会思想論の観点から考えます。授業は3人の担当者によるオムニバス形式です。

#### 【授業計画】

第1回～第2回：ジョン・ラスキン、ジェヴオンズ、賀川豊彦の人間・社会経済思想について考察します。いずれも人間が「社会」の道具として認識されることに直感的な危機感または違和感を感じた思想家について紹介し、現在の人間・社会経済状態について考えたいと思います。

第3回～第4回：フランスの思想家アレクシス・ドゥ・トクヴィル、社会学者エミール・デュルケーム、哲学者アンリ・ベルクソンの「社会」に関する思想を、激動のフランス近代史と関連づけながら検討し、そもそも「社会」とは何かについて根源的に考えます。

第5回～第6回：モリスとハワードのイギリス田園都市の思想。ウィリアム・モリスは英国アーツ・アンド・クラフツ運動の中心人物。エベネザー・ハワードは田園都市の生みの親として知られる都市計画家です。2人の思想と実践をたどり、「美しい生活」とは何か、「美しい都市」とは何かを考えます。

#### 【到達目標】

様々な社会思想を学び、私たちが現代の社会と文化を考えるヒントにしましょう。討論を通じた多様な意見の交流そして相互理解を図ることも目標です。

#### 【教科書】

(第1～2回) 資料を配布します。(第3～4回) 菊谷和宏『「社会」の誕生』、講談社(選書メチエ)、¥1,500

(第5～6回) 資料を配布します。

#### 【参考書】

(第1～2回) 授業のなかで紹介します。(第3～4回) 教科書巻末の参考文献表を参照してください。

(第5～6回) 授業のなかで紹介します。

#### 【成績評価方法】

授業に対する積極性やレポートの成績を総合して評価します。

#### 【授業時間外学習】

(第1～2回) 予習として、ジョン・ラスキン、賀川豊彦の著作に少しでも触れておいてください。復習については授業で提示します。

(第3～4回) 教科書を読んでおいてください。

(第5～6回) モリスとハワードについて、インターネット・ウィキペディアなどで少し知識を仕入れておいてください。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

授業でとりあげる思想家たちは(なかには初めて名前を聞いたという人物もいるかもしれませんが)、いずれも非常に魅力的な人たちです。彼らの思想を手がかりにして、今日の社会のありようをめぐる大いに議論しましょう。